

①学習課題（小学校 4 年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜学習内容＞

◆「白いぼうし」（教科書 15～28 ページ）に取り組めます。

① 16～25 ページを音読します。

② ふしぎだと思った出来事（とき明かしたいふしぎ）を、問いの形（質問する文の形）にしてノートや取組シートに書きます。

※例：「女の子」は、なぜ消えてしまったのかな。

③ ②で考えたふしぎだと思った出来事について、関係がありそうな文や、解決につながりそうな文を探して、線を引きましょう。

④ ノートや取組シートに、問いについて考えた説明を書きます。

※③で線を引いたところから、問いについて自分なりに考えことを書いてみましょう。（例：わたしは、女の子は○○だと思います。それは、○○場面に○○と書かれているので、～だと考えました。）

◆「漢字辞典の使い方」で学習する予定の新出漢字（辞～城まで）をノートに練習します。（読み方や書き順などは、152 ページに出ています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ・この物語は、不思議だなと思うことを解き明かすために繰り返し読みたいという意欲をもつことが大切になります。保護者の方が一緒に楽しんであげること、お子さんも読む楽しさを感じることができます。
- ・③では、P26 を参考にしてください。色やにおいを表す言葉や、人物の様子を表す言葉を見付けていくことができるよう声掛けをしてあげてください。
- ・お子さんが学習した内容を後から確認する場合、教科書で線を引いたところや読んで考えた説明を聞いてあげてください。場面や文章中の言葉もとに自分なりに説明できた時は、頑張りを褒めてあげてください。

【社会】

＜学習内容＞

◆「^{とどうふけん}都道府県の名前と位置」（地図帳 115 ページ）を見て、取組シートやノートに取り組もう。

- (1) 「形に注目」を見て、わたしたちの住む北海道の形が何に見えるか考えて、絵をかいてみよう。
- (2) 「文字に注目」を見て、⑥山、⑦川、⑧島、⑨動物の漢字がつく都道府県を探して、書き出そう。
- (3) 「^{い ち}位置に注目」を見て、⑩海に面していない都道府県、⑪最も多くの都道府県と^{せつ}接している都道府県を探して、書き出そう。

◆「わたしたちの県」（教科書 132～135 ページ）や地図帳をもとに、日本の都道府県の名前と位置について、取組シートやノート、白地図に取り組もう。

- (1) 47 都道府県について、日本全国の白地図に地方ごとに色をぬりましょう。都道府県を指さしながら、名前をかくにんしょう。
- (2) 東北地方にある 6 つの県について、東北地方の白地図に県名を書きましょう。また、それぞれの県には、どんな特ちょうがあるか調べ、分かったことをまとめよう。
- (3) 東北地方にある 6 つの県の位置をそれぞれ指でさしながら、県名を声に出して言ってみよう。何も見ないで、すべて言えるようになったらすばらしいです。

※県の特ちょうや^{とくさんひん}特産品もいっしょに言えるとさらによいです。

＜保護者による関わり方のポイント＞

◆「わたしたちの県」

- ・ 地図帳で東北地方の特産品や有名な場所、行ったことがある場所などを一緒に探しながら取り組むと、興味・関心を高めることができます。
- ・ 答えることができた県名が増えたなどの頑張りを認め、お子さんが継続して取り組もうという意欲につながる声かけをお願いします。

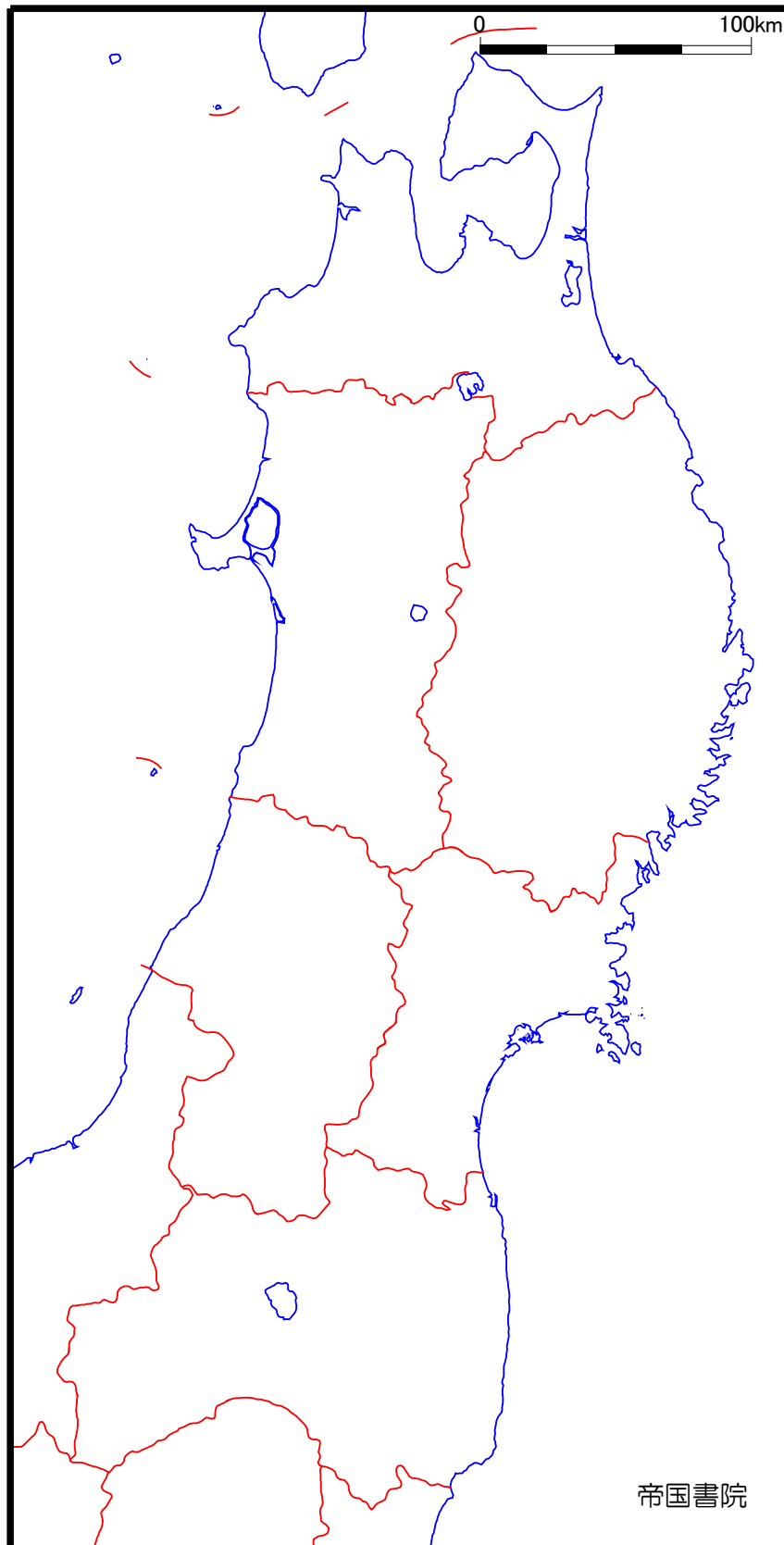
※地図帳の P115 に、QR コードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用ください。

白地図（日本全国）

名前



白地図（東北地方） 名前



【算数】

「※」は、学習するときのアドバイスです。

<学習内容>

◆^お折れ線グラフ（教科書 P49～P52）

- (1) 教科書 49 ページにある「５月 15 日の気温調べ」を見て、教科書に折れ線グラフをかいてみよう。
- (2) 教科書 50 ページにある「５月 16 日の気温調べ」を見て、教科書に赤鉛筆で折れ線グラフをかいてみよう。
※ 2 つの折れ線グラフが重なるよ。
※ 点や直線の色を変えようと、2 つのグラフが区別しやすくなるよ。
- (3) 重なった 2 つの折れ線グラフを見て、気付いたことを、ノートか取組シートに書こう。
※ 3 つくらい気づくことができるかな。学校が始まったときに、この部分をみんなで話し合えるといいね。

<時間があったらやってみよう>

- (4) 教科書 52 ページにあるハムスターの体重を、㊸のグラフ用紙と㊹のグラフ用紙を参考にして、ノートか取組シートに折れ線グラフをかいてみよう。

<保護者による関わり方のポイント>

◆折れ線グラフ（教科書 P49～52）

- ・グラフの正しいかき方を覚えることももちろん大切ですが、「数値に合ったグラフの縦軸・横軸の目盛りを考える」、「変化のちがいを考える」等、お子さんがグラフを見て考えることがとても大切です。
- ・今週は、折れ線グラフを何回かかきますが、学校再開後に授業でも扱いますので、子ども自身でかいてみるという姿勢を大切にしてください。

※インターネット上にある「まなびリンク『折れ線グラフツール』」で、折れ線グラフをつくることもできます。

（教科書の P 4 に、QR コード・HP アドレスがついています。）

【理科】

<学習内容>

- ◆「動物のからだのつくりと運動」（教科書 18～20 ページ）を見て、気づいたことやぎもんを書こう。

○写真を見て、からだの動かし方について気づいたことを、取組シートやノートに書きましょう。

※からだのどこが動いているかな。

- ◆「動物のからだのつくりと運動」（教科書 21～22 ページ）の問題（わたしたちは、どのようにして、腕を動かしているのだろうか）について、自分のうでをさわったり、教科書の写真や図を見たりして、考えましょう。

○自分のうでを曲げたりのばしたりして、気付いたことや取組シートやノートに書きましょう。

※うでを曲げたときと、のばしたときの動きをくらべましょう。

<保護者による関わり方のポイント>

- ・この学習では、曲がる部分と曲がらない部分の違いや筋肉の動きに気付くことが大切です。
- ・腕の動きを観察する際に、いろいろな角度から見るように声をかけてください。